小学４年 社 会 ―― 解答と解説

1

問１						問２	問３	問４
Ⅰ	ウ	Ⅱ	エ	Ⅲ	ア	ア	イ	エ
	21		22		23	24	25	26

問５
エ
27

2

問１											
①	ア	②	ス	③	ケ	④	タ	⑤	サ	⑥	ソ
	28		29		30		31		32		33

問２		問３
イ	エ	エ
34	35	36

3

問１					
A	日本 （海）	B	中国 （山地）	C	四国 （山地）
	37		38		39

問１		問２					
D	太平 （洋）	①	ウ	②	エ	③	ア
	40		41		42		43

（配点）
3 問８（4） ６点
3 問４（1）、（4）、問９ 各３点
上記以外各２点 計100点

2 問２ 順不同

問3											
①	ア	②	エ	③	キ	④	ク	⑤	キ	⑥	ク
	44		45		46		47		48		49

問4					
(1)	さぬき	(2)	エ	(3)	ア
	50		51		52

問4													
(4)	ま	ん	の	う	(池)	(5)	i	吉野 (川)	ii	坂東太郎	ウ	筑紫次郎	オ
					53			54			55		56

問5	問6	問7	問8						
オ	8	エ	(1)	はくさい	ア	レタス	イ	(2)	エ
57	58	59			60		61		62

問8								
(3)	コ	ー	ル	ド	チ	ェ	ー	ン
								63

問8	
(4)	他の生産地の出荷量が少ない時期に出荷することで高いねだんで売ることができ、利益を上げられるから。
	64 65 66

問9			
瀬戸内	ア	中央高地	ウ
	67		68

【解　説】

1 日本の伝統行事に関する問題

問１ A2 **具体・抽象** **比較**

おせちに使われるそれぞれの料理の説明から、こめられた願いを考え、答える問題です。Ⅰの伊達巻は、「形が巻物に似ている」から、学問や知識が豊かになるようにとの願いがこめられていると考えられます。また、Ⅱの田作りは、「田などの肥料に使われた魚」から、米や野菜の豊作を願っていると考えられます。Ⅲの海老は「背中が丸く曲がる」から、腰が曲がるまで長生きできるようにとの願いがこめられています。イの願いは出世魚であるブリを使った料理などであらわされています。

問２ A2 **分類**

１月７日に食べる七草がゆで使われる七草は春の七草として知られており、「せり」「なずな」「ごぎょう」「はこべら」「ほとけのざ」「すずな」「すずしろ」とされます。ほうれんそうは七草ではないため、アが正解となります。ちなみに「すずな」は「かぶ」で、「すずしろ」は「だいこん」のことです。

問３ A2 **順序立てて筋道を捉える**

端午の節句は、５月５日に男の子の成長を祝う行事で、桃の節句（３月）と七夕（７月）の間に入ります。そのため正解はイ（ＣからＤの間）です。

問４ A2 **具体・抽象** **比較**

七五三で子供に渡されるのは、細長い形で縁起がよいとされる千歳飴です。そのため正解はエです。アの金平糖はでこぼこ状のつのがある砂糖菓子、イのべっこう飴は亀の甲羅のべっこう状の色つやのある飴、ウの水飴は粘液状の甘い飴のことです。

問５ A2 **関係づけ** **比較**

「○○の候」の○○と各行事の季節を照らし合わせて、正しい組み合わせを考える問題です。

Ⅰ「初秋の候…」は９月の重陽の節句ごろなのでEです。Ⅱ「春寒の候…」の「春寒」は立春（２月４日ごろ）を過ぎてからぶりかえす寒さのことで、３月の桃の節句ごろなのでＣです。Ⅲ「師走の候…」は12月全般をさします。大晦日もふくみますのでＧです。Ⅲの文で「年末の～」とあるところからⅢはＧであると判断してから解くのもよい目のつけ方ですよ。

2 地図を使った読み取りについての問題

問１ B1 **特徴的な部分に注目する** **置き換え** **比較**

挑戦状を読み解きながら空らんにあてはまる語句を選ぶ問題です。会話の中にもありますが、自分がどのむきをむいているかを考えることで解き進められるようになります。①は駅を右に進む指示があります。方位記号から上が北になりますので、右＝東で正解はアです。②のつきあた

りにある建物は寺院ですので正解はスです。③の右手に見えるのは病院ですので正解はケです。また④の左手に見えるのは図書館ですのでタ。つきあたりにあるのは老人ホームですので⑤の正解はサです。最後の宝の隠し場所は小学校ですので⑥の正解はソです。

問２ B1 **視点を変える** **置き換え** **比較**

線路は北東から南西へ、または南西から北東へとのびています。したがって、含まれないのはイの北西とエの南東です。

問３ B1 **視点を変える** **置き換え** **分類**

地図からは、茶畑と果樹園、田の地図記号が読み取れます。選択肢の中でこれらにあてはまらないのは畑でつくられるエのじゃがいもとなります。

3 降水量の少ない地域に関する問題

問１ A2 **置き換え**

地図１のＡ～Ｄに入る地名を漢字で答える問題です。いずれも基本的な地形の知識ですので、漢字で書けるようにしておきましょう。地名を漢字で覚える際に、意味もふくめて覚えると忘れにくくなるものもあります。例えば「たいへいよう」で､「太平洋」か「大平洋」か迷う人が多くいます。「太平」には「おだやかな」という意味があり、「太平洋はおだやかな海って意味なんだよね」と覚えていれば迷うことはありません。ちなみに「太平洋」は命名した人が航海したときの感覚からきており、実際にはおだやかな海というわけではないようです。

問２ B1 **視点を変える** **置き換え** **関係づけ**

県の特産物と昔の国名をヒントに答えを導く問題です。①はいよかんの「いよ」から愛媛県と判断できます。②は徳島県で、すだち、鳴門のうず潮、阿波踊りはいずれも有名です。③は広島県でかきの生産がさかんなことや厳島神社や原爆ドームで有名です。昔の国名は今でもさまざまな形で残っていますので、まずは自分の住んでいる都道府県からでも調べてみるとおもしろいですよ。

問３ B1 **視点を変える** **具体・抽象** **比較**

資料から冬は北西の季節風、夏は南東の季節風がふいていることが読み取れます。また、夏冬ともに、山にぶつかる前はしめった空気で雨雪を降らせ、瀬戸内海におりる時はかわいた空気になります。瀬戸内の気候は降水量が少ないということだけを覚えるのではなく、なぜか？までおさえておくと、似たような気候が出てきたときに、もしかしたら同じような理由なのかな？と考えをめぐらせることができます。そうすると知らなくても、考えれば解けるということにつながっていきますよ。

問4

（1） A2 置き換え

問われている平野と山脈に共通する言葉は「さぬき」です。讃岐は香川県の昔の国名で、今でも「さぬきうどん」などで聞いたことがあるのではないでしょうか。

（2） A2 比較

水不足の被害は「干害」となります。正解はエです。

（3） B1 特徴的な部分に注目する 置き換え 比較

この地域をあらわす地図は、文章からも推測できるように、水不足に対応するためのため池が多いことがあらわされている地図を選びます。正解はアで「高松南部」の地形図です。イは水田が広がっており、米作りがさかんな「秋田県大潟」の地形図、ウは のビニールハウスが広がる、「高知県土佐高岡」の地形図、エは扇状地とよばれる山あいから扇形に広がる地形がみられる「山梨県石和」の地形図です。

（4） A1 知識

空海が修復した有名なため池は「満濃池（まんのういけ）」です。

（5） i A1 知識 ii A2 関係づけ 比較

香川用水の水源は「吉野川」で別名「四国三郎」とよばれており、日本三大暴れ川の一つです。日本三大暴れ川はほかに関東地方にある利根川（坂東太郎）、九州地方にある筑後川（筑紫次郎）があります。イの最上川は東北地方の山形県の庄内平野を流れる川、アの石狩川は北海道を流れる日本3位の長さの川です。エの四万十川は高知県を流れる「最後の清流」とよばれている川です。

問5 A2 関係づけ 比較

香川県の小豆島ではオリーブの栽培がさかんで、県花にもなっています。正解はオです。淡路島は兵庫県の島で、たまねぎの生産がさかんなことで知られています。佐渡島は新潟県の島で、かつては金がとれる金山があり、世界遺産にも登録されています。

問6 B1 特徴的な部分に注目する 置き換え

長野県は８つの県と接しています。接している都道府県は新潟県、群馬県、埼玉県、山梨県、静岡県、愛知県、岐阜県、富山県です。知らなくても、地図を丁寧に読み取ることで解答を導くことができる問題でもあります。資料を丁寧にしっかり読むと、正解に気づくことができる問題は多いので、ぜひ丁寧に読み取る練習を続けてください。

問7 A2 置き換え 比較

A飛驒山脈（北アルプス）、B木曽山脈（中央アルプス）、C赤石山脈（南アルプス）の組み合わ

せが正解ですので、正解はエです。日本アルプスの３つの山脈の位置と名前は知識として必ずおさえておきたい山脈です。漢字でも書けるように練習をしておきましょう。

問８

（1）　B1　特徴的な部分に注目する　置き換え　比較

はくさい・レタスの生産量をあらわしたグラフは長野県が多いものを選びます。ウがなすでエがピーマンですが、なすやピーマンは夏野菜で、高知県や宮崎県で促成栽培が行われていることで知られています。正しい答えにたどり着くためには知識を正確に覚えていることが大切なのですが、夏野菜は高冷地では栽培がさかんでなかったな、と気づけるとぐっと正解を導きやすくなります。

（2）　A2　分類

高原野菜としてはキャベツも有名です。したがって正解はエです。アのにんじん、イのじゃがいも、ウのピーマンもまったく生産していないわけではありませんが、高原野菜としては一般的ではありません。

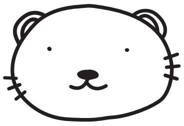
（3）　A1　知識

冷やしたままの状態で出荷し、消費者の近くまで届けていく仕組みは「コールドチェーン」といいます。コールド：冷たい、チェーン：つながり　と覚えると忘れにくいですよ。

（4）　B2　視点を変える　推論　理由

出荷時期をずらすことで、値段が下がりにくくなります。つまりもうけが大きくなると言えます。どうして出荷時期をずらすと値段が下がりにくくなるのかというと、同じときにたくさんの野菜が市場に出てしまうと、店では売りきれなくなってしまい、値段を安くしないと売れなくなるからです。たとえば、トマトを全国の農家がいっせいに夏の同じときに出荷したとします。するとスーパーにはトマトが山のように並びます。トマトが新せんなうちに売れ残らないようにするには値段を下げ、少しでも多く買ってもらえるようにしなければなりません。でも、ある農家がビニールハウスを使って春に少し早めに出荷したり、逆に秋まで待ってから出荷したりすると、その時期にはトマトが少ないので、「めずらしい」「今食べたい」という理由で高い値段でも売れるようにもなります。

問９　B1　特徴的な部分に注目する　関係づけ

瀬戸内の高松市と、中央高地の松本市はいずれも降水量が少ない地域ですので、降水量では見分けるのが難しくなります。そういった場合は気温に着目しましょう。瀬戸内と中央高地では中央高地の方が標高が高く、気温は低くなります。特に冬の気温が０度付近まで下がっているかどうかで見分けることができますので、降水量で判断がつかない場合は気温に注目することをおさえましょう。さらに北海道の札幌市も降水量が多くはありません。しかし気温に注目すると０度を下回っており、これも気温から札幌市と判断することができます。

（記述問題の採点について）
・明らかな誤字・脱字がある場合…－１点
3問８（４）
「ねだん」「出荷量」のことばが使用されていない場合…不正解